

科目名 動物資源管理学特論 (2単位)

担当者氏名 横濱 道成、白木 彩子

◆学習・教育目標

家畜種・実験動物の遺伝資源については、国内外における保存事業の現状を紹介し、それら種の特性を明らかにして、その管理の意義を解説する。また、野生生物資源のひとつとして鳥類をとりあげ、保全管理の基礎となる生態的背景を理解する。資源管理については、動物資源の価値を背景に分子生物学、家畜育種学（経済形質）、個体・群集生態学などの視点を加え包括的に講述する。（オムニバス方式／全15回）

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

分子遺伝学	家畜改良	連鎖解析	標識遺伝子
鳥類生態学	野生動物保全管理	実験動物	遺伝学的特性

◆授業の進行等について（単位制度に基づく授業の進行予定・内容）

回数	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1-5	1 家畜改良における分子生物学的手法の適用事例（横濱 道成／5回）	ウシを例に、伝統的な育種法とゲノム育種法、ウシ連鎖地図、経済形質に関するDNA多型、疾病に係るゲノム解析例、ミトコンドリアDNA多型の利用、並び我が国における系統保存事業を講述する。	分子生物学的手法が家畜改良に応用されている現状を学ぶ。
6-8	2 実験動物および家畜の利用と維持（横濱道成/3回）	実験動物の利用と保存（主にマウス、ラット）、遺伝学的特性、動物の維持・管理について併せ講述する。	
9	3 鳥類の分類(担当 1回 白木 彩子)	野生生物資源のひとつである野生鳥類の分類とその歴史的変遷について講述する。	鳥類の分類について理解する。
10-12	4 鳥類の繁殖生態（白木 彩子／3回）	野生鳥類の繁殖特性や繁殖に関わる要因について講述するとともに、関連する英語論文や解説書を輪読する。	レジメや資料の予習をすること。
13-15	5 鳥類による環境資源利用（白木 彩子／3回）	野生鳥類の生息環境や餌資源の利用形態や選好性およびその維持保全について講述するとともに、関連する英語論文や解説書を輪読する。	レジメや資料の予習をすること。

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

◆評価の方法（レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト）

出席状況およびレポート(課題)により評価する。

◆その他受講上の注意事項

調査や学会等で欠席する場合は事前に申告のこと。